

西宮市公共施設等総合管理計画（素案）に対する
意見提出手続（パブリックコメント）の結果について

平成 29 年 1 月

政策局 施設マネジメント部 施設企画課

西宮市公共施設等総合管理計画（素案）に対する意見提出手続（パブリックコメント）の結果及び市の考え方について

平成 28 年 9 月 23 日から 10 月 24 日にかけて実施した意見提出手続（パブリックコメント）について、3 名の方々から 16 件のご意見等をいただきましたので、ご意見等の内容とそれに対する市の考え方を公表します。

■ 意見提出者：3 名（男性：1 名，女性：1 名，不明：1 名）

年代別	
40 代	1 名
60 代	1 名
70 代	1 名

居住地域別	
本庁	2 名
塩瀬	1 名

職業別	
無職	2 名
不明	1 名

提出方法別	
メール	1 名
郵送	1 名
F A X	1 名

■ 意見件数：16 件

回答分類	分類内容	件数	意見番号
①素案に記載済	意見と同趣旨の内容が既に素案に盛り込まれているものまたは別に同趣旨の計画を策定しているもの	5 件	2, 8, 11, 13, 16
②意見を反映	意見を反映し、素案を修正したもの	0 件	
③今後の参考・検討	素案の修正はしないが、今後の参考とするものまたは検討していくもの	7 件	3, 4, 6, 10, 12, 14, 15,
④対応が困難	対応が困難なもの 市の考え方や方向性に合致しないもの	0 件	
⑤その他	感想など	4 件	1, 5, 7, 9
合 計		16 件	

※ご意見中の数値及び事実等については、本市で確認できていないものも含まれております。

※ご意見については、原文に修正を加えずに記載しております。

意見 提出者	意見 番号	ご意見等の内容	市の考え方	回答 分類
A	1	<p>街の中ですれ違う人々、公共交通機関で出会う人、特定の場所や催事場以外では若者よりも老人を多く見掛ける。『少子高齢化』が猛烈な早さで進行している事が理解出来ます。若者達の中にも、考え方を間違えて『特殊詐欺』や『犯罪組織』に走ろうとする者も散見されるのは至近の甘やかし政策の結果でもあります。</p> <p>昨今の若者は、労働意欲が減退し、『楽をして、少ない労働時間で、高額な収入』を得ようとして、折角就職しても永く続かず退職し、一部の左傾化扇動家や、彼らを利用して世に出ようとする政治家や弁護士などに扇情的に扇動され、『政治が悪い』等と自らの努力をしないで騒いでいるだけや、引きこもったりする若者像が作られつつあります。</p> <p>昔は必死に働いても生活は苦しく、努力しない若者は『先生や公務員にでもなる』か『先生や公務員にしか出来ない』（デモンシカ先生）など日教組の思想が蔓延って、歪な教育が行われて現代の社会の基盤になっているとも云い得ます。</p> <p>そうした若者達に救いの手を差し伸べようとする政策は叫ばれますが、是正しようとする機運は行政側にもなくこれからの日本が如何なるのかも心配な事です。</p>	—	⑤
	2	<p>メディアの報道では日本に於いて、毎年 27～30 万人の人口減少が伝えられて居り、公共施設の整備に於いて、基本的にはこうした人口減少構造を取り入れて検討する必要があります。</p>	<p>【素案に記載済】 本市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の標準的な人口推計手法によると、平成 32 年頃までは微増していく見込みですが、72 年には 405,555 人まで減少するとされています。したがって、施設の性能・機能や将来的な需要などを踏まえて保有施設の適正量を見極め、余剰となる施設の再編・処分等を行うことにより総量の縮減を図ってまいります。</p>	①
	3	<p>年齢別での人口構成は承知していませんが、西宮市でも鳴尾支所管内の人口減少の激しさは、西宮市の統計資料に著された資料によると（国勢調査その他で発行のない月もある）、平成 24 年 306 名、平成 25 年 904 名、平成 26 年 1,053 名、平成 27 年（9 月迄）345 名、平成 28 年 4 月から 10 月迄で 281 名、合計 2,889 名の毎年の減少になっています。 （元々鳴尾地域は旧、良元村で砂地の為に、イチゴと芋の生産が盛んな所でした。）</p> <p>こうした人口減少地域での公共施設整備は統合以外に考え物ではありませんか。</p> <p>また公共インフラの新設も将来の消滅を暗示する地域には無駄な投資になる可能性がありますか如何考えられているのでしょうか。</p> <p>施設等の整理統合は進める必要性を認めます。</p>	<p>【今後の参考・検討】 人口推計では本市においても将来的には人口減少が見込まれますので、公共施設の整備に関しては、地域に必要な行政機能は確保した上で、保有施設の適正量を見極め、余剰となる施設の再編・処分等を行うことにより総量の縮減を図ってまいります。</p> <p>公共インフラについては、無駄な投資とならないよう、将来の需要を見据えたうえで、地域に必要な整備を計画的に行ってまいります。</p>	③

意見 提出者	意見 番号	ご意見等の内容	市の考え方	回答 分類
A (続き)	4	<p>高齢者の自家用車利用も事故の可能性から、運転免許を返納する人が増加傾向にあると、免許センターの警察官は話していました。</p> <p>施設整備に於いては、自家用車を廃止する高齢者は、公共交通機関の利用になりますが居住者の多い地域ではバスも頻発されますが、不便な地域でのバス運行は少なく、西宮市の公共施設の利用にも不便を困っているのが実情のようです。</p>	<p>【今後の参考・検討】</p> <p>公共交通の利用が不便な地域の存在を考慮しながら、公共交通の利便性向上に取り組んでまいります。</p>	③
	5	<p>従来の市街地調整区域の解除で住宅が建設されて、開発が進んだ結果ですが折角の商業施設も利用者減少で撤退する事業者があり、居住者の高齢化と共に人口減少地域となって消滅地域にもなる可能性を秘めています。</p> <p>先般の国会で総理大臣の答弁にも、働く人々を『外国人に依存しなければ国家経営が成立しなくなる公算が大きい』とありました。</p>	—	⑤
	6	<p>公共施設の整理統合に於いては、外国人の働き手が、言葉の研修、地域の施設での各国の人々の集いが可能になるような運営も考慮して行う必要があると考えます。</p>	<p>【今後の参考・検討】</p> <p>外国人市民の方に対しては、多文化共生の観点から、西宮市国際交流協会において日本語学習支援、多言語による各種相談や情報提供、地域での交流などの事業を市民ボランティアと連携して行っており、今後とも継続的に行っていきたいと考えております。</p>	③
	7	<p>高齢になると周辺道路事情（歩道の凹凸）からも、外出で思わぬケガをする危険もあり、外出も控えるようになりますが、ケガを経験した私自身もそうした経緯を痛感して居ります。</p>	—	⑤
	8	<p>公共施設の整備にはグレードの高い資機材を使用し、躯体の耐久性と維持管理の容易性の向上を図るのは当然の事と云い得ます。</p>	<p>【素案に記載済】</p> <p>施設をより長期に亘って使用するため、長寿命化に資する設計指針や、長寿命の資材・機器類の採用、省エネルギー・省資源や保守の効率化等の要素を定めた指針を策定し、それらの指針に基づいた施設整備を行うことで、耐久性が高く、維持管理に手間がかからない施設となるよう努めてまいります。</p>	①

意見提出者	意見番号	ご意見等の内容	市の考え方	回答分類
A (続き)	9	昨今、兵庫県内の市町村でも下水道の整備をしたが、人口流出で採算が取れなくなり、料金の引き上げも限界があると、各種セミナーで危機が述べられています。	—	⑤
	10	施設の統合整備については、移動手段を持たない高齢者や障害者を重点に置くか、若い人々を中心に考えるか、また将来的には働き手となる外国人にも利用可能にするか、重要な意味合いを持つ内容であり、更なる十分な検討を加える必要があると思います。	【今後の参考・検討】 公共施設の整備にあたっては、今後の人口動向や地域の状況、高齢者や障害者、外国人の方など多様な市民のニーズを的確にとらえた上で、公共施設に求められる施設整備のあり方を検討してまいります。	③
	11	優秀な若手の西宮市職員が考えた素案でもあり、信頼感がありますが、人事異動で部署が変われば無関係の人が再び基本から積み上げられるのでしょうか。	【素案に記載済】 庁内における研修の実施等により、公共施設マネジメントの考え方について庁内浸透を図り、人材を育成し、適切で効率的な施設の管理体制を構築することで、人事異動に影響されずに、組織として安定した計画の推進ができるよう、努めてまいります。	①
B	12	住宅施設の割合の多さにビックリしました。障がい者を配慮したバリアフリーの住宅はこれから必要だと思いますが、原則的には個人に民間の住宅への入居を促し、市・市などから積極的に援助する施策が良いと思います。	【今後の参考・検討】 公営住宅制度は、民間市場において住まいを確保しにくい人を対象に低廉な家賃で住まいを提供するものです。西宮市においては平成7年の阪神・淡路大震災被災者への対応として多くの災害公営住宅を供給したこともあり、全世帯数に対する割合は全国平均に比べ高くなっています。今後、民間住宅における空家が増加傾向にあることも視野に入れ、高齢者や障害者等への対応を検討してまいります。	③
	13	何もかも縮減していくという方針はネガティブに感じられ、住宅施設の割合の多さと相まって、全体的に西宮市の活力、その代りになるものが感じられない。統廃合など行うにしても、地域の現状・課題など、市から考え、取り組み方を市民、地域住民に説明し、それから協働が始まると思う。しかし、名塩、山口は新住民は増えたが、町づくりに関わり、活動していくのはまだ難しい気がする。	【素案に記載済】 施設の統廃合については、一律に縮減するのではなく、行政需要に対して不足する機能は確保する一方、余剰となる施設は廃止し、全体としては、人口減少に伴って、総量を縮減していかなければならないと考えております。 また、施設の統合や廃止にあたっては、市民の理解と合意形成が特に重要であり、地域の現状や課題を把握した上で、市民との十分な話し合いや丁寧な説明を行ってまいります。	①

意見提出者	意見番号	ご意見等の内容	市の考え方	回答分類
B (続き)	14	<p>今年の3月末で退職したが、帰り塩瀬センターを見るといつも窓の明かりが消えていた。</p> <p>集会室など、どのくらいの利用があるのか分からないが、余り使われないうで朽ちていくのは立派な建物だけにもったいない。</p> <p>推進委員会があるらしいが、回覧で来る、年に何回かある講座案内は、毎年同じで、企画している人達には悪いが興味をそそるものはほとんどない。不特定多数の地域住民が利用する施設として公民館・・・とあるが、公民館などは特定のグループ、団体の利用である。</p>	<p>【今後の参考・検討】</p> <p>塩瀬公民館については、夜間の稼働率が低くなっておりませんが、講堂・集会室の午前・午後の稼働率は概ね60%を越えており、自主的なグループ活動以外にも、宮水ジュニア事業、健康相談・検診、社会福祉協議会によるふれあい給食の事業が実施され、風水害時には避難所としても使用されております。</p> <p>また、推進員会講座については、それぞれの地域から選出された公民館活動推進員が講座を企画し、地域の協力を得ながら広報を行っております。</p> <p>今後は、公民館の稼働率が低い時間帯の有効活用や、受講者へのアンケートを通じて、より魅力的な講座が実施できるよう努めてまいります。</p>	③
	15	<p>不特定多数の個人が利用できるのは、図書館である。西宮市の規模での図書館の統計では（貸出冊数・蔵書冊数など）文教都市を標榜している西宮市として物足りない。特に蔵書数は他市と較べてもそうである。</p> <p>西宮市の収書基準、除籍基準など見てみたが、当たり前のことしか書いてなかったが、枚方市、横浜市なども見たが詳しく書いてあり親切だった。すぐ捨てていくようでは、市民もがっかりするし、書店とは違った深みのある図書館にはならない。それに「図書館日和」というアプリもあり、他市の図書館と蔵書を比較される。</p> <p>統廃合で空いた施設を再利用し、書庫として充実させることも一つの方法である。</p>	<p>【今後の参考・検討】</p> <p>図書館では、「西宮市図書館資料収集管理要綱」に基づき、計画的に出版事情、蔵書構成、利用者の需要及び保存価値を総合的に判断し、資料の収集及び除籍を適切に行っており、新たに書庫を設置する予定はございませんが、今後も図書館資料の充実を図るため、資料の収集・蓄積を行い、市民生活に密着したより質の高いサービスを提供できるよう努めてまいります。</p>	③
C	16	<p>公共施設は、市の大切な財産であり、老朽化を理由に、統廃合するのに、反対です。直して使う、など、長期のプランを持ち、地元の企業を使うなどすれば地域も活性化するのは、と考えます。また、公共施設（学校・公民館）は市民にとっての学習・文化を学べる場であり、コミュニティーの場です。他都市と比較するのではなく、西宮市が長年培った、財産をどう有効に使うのか、を考えて頂きたいです。</p>	<p>【素案に記載済】</p> <p>施設の統廃合は、人口減少や、更新・改修費用などの財政負担の面から、施設の適正な配置のために行うものであり、老朽化した施設でも必要な施設については建替えたり、改修してより長く使うこととしております。今後も財産を有効に活用するという視点を持って、施設の最適な配置を目指してまいります。</p>	①

■意見等に対する対応

いただいたご意見等については今後の取り組みを進める上での参考とさせていただくこととし、西宮市公共施設等総合管理計画については、素案のとおりといたします。